

# 第30期定期総会報告

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、第30回定期総会を中止とし、昨年11月5日に開催の世話人会で総会議事(29期活動のまとめ・決算、30期活動の計画・予算・役員体制)についてオンライン会議で論議しました。概要は次の通りです。

# 医療と福祉

## この1年間の活動

◆第29回定期総会・記念講演(2019年10月26日)

テーマ…セクシユアリティを超えて多様性が彩る未来

講師…儀間 由里香氏  
(Take It.虹代表)

参加…51人

参加無料

オンライン講演会

## 地域生活を支える医療のあり方

講師

栗原正紀先生

一般社団法人是真会  
長崎リハビリテーション病院理事長



とき

2月16日(火)  
19:00~20:30

開催方法

Zoomウェビナー  
申込締切 2月10日(水) 厳守

事前登録が必要です

申込みフォーム



※長崎県保険医協会HP内にあります

または、  
ndda@doc-net.or.jp

上記アドレスに、氏名・職業・電話番号・メールアドレスを必ず記載してお送りください。

◆第14回学習懇談会

5月に開催予定でしたが、コロナ禍で緊急事態宣言が出されたことから、今年の2月16日に延期になりました(別記)。

◆会報「医療と福祉」の発行

2回(第69号、第70号)発行しました。

◆『改訂版 医療と福祉』

発行しました。

◆発行◆  
医療と福祉を考える  
長崎懇談会

◆連絡先◆  
長崎市恵美須町2-3  
長崎県保険医協会  
TEL095-825-3829  
FAX095-825-3893

### 主な記事

- 介護サービス施設利用者へのコロナ禍の影響について……………3面
- 核兵器禁止条約発効と今後の課題……………4面
- リレー投稿
- 『発達障害』言葉は知っていても……」
- NPO法人SPICY相談員 東川由貴……………6面

## のてびき2016

- ・2016年4月に4000冊発行し、2020年9月30日現在で3098冊普及し、在庫は902冊となりました。
- ・改訂版を2021年4月発行をめざして、2020年5月に編集委員会を開催する予定でしたが、コロナ禍のため、発行を2022年4月(コロナ禍の状況をみて)に変更しました。

## ◆常任世話人会

・コロナ禍のため、1回のみ開催でした。

## 活動計画

- 1 学習懇談会・講演会などの開催

長崎県内の医療・福祉について、健康に関することや医療費、国保料、生活保護のこと、介護や認知症のこと、障がい者を取りまく問題や発達障害で悩んでいること、過労死や自殺問題、被爆者の健康など、地域で困っていることやその時々具体的な問題を取り上げて学習懇談会や講演会を開催し、理解を深めます。

## 2 会報「医療と福祉」の発行

年2回(1月・8月)発行します。医療と福祉をめぐる動きや県内の情報・会員の声などを掲載します。とくに発達障害や介護問題、生活保護や障がい者の問題などをとりあげ、リレー投稿も引き続き充実させます。また、関連するイベントの情報も掲載します。

**29期会計決算**  
(2019年10月1日～2020年9月30日)

【一般会計】

(収支)	第29期予算	第29期決算	備考
会費 個人	50,000	31,000	2021年以降の会費(9人、7,000円)含む
団体	206,000	218,000	
寄付	0	0	
雑収入	0	4	利息(十八銀行)
収入小計	256,000	249,004	
繰越金	210,578	210,578	第28期より
合計	466,578	459,582	

※個人会費500円(2008年度までは1,000円)、団体会費1,000円以上

(支出)	事業費	第29期予算	第29期決算	備考
総会費	100,000		57,243	第29回総会
事業費	200,000		47,982	会報68～69号発行
事務費	60,000		36,504	封筒印刷代、払込料金、送料等
予備費	106,578		0	
支出小計	466,578		141,729	
繰越金	0		317,853	
合計	466,578		459,582	

【特別会計】医療と福祉のてびき

(収入)	第29期決算	備考
販売	24,698	2016年版 18冊(特別価格含む)+送料
繰越金	897,456	第28期より
合計	922,154	

(支出)	第29期決算	備考
発送代	2,937	郵便、佐川急便 2016年版
繰越金	919,217	
合計	922,154	

現金	42,706	一般会計	317,853
十八銀行	521,732	特別会計	919,217
郵便振替	672,632	立替金	0
合計	1,237,070	合計	1,237,070

**30期予算案**  
(2020年10月1日～2021年9月30日)

【一般会計】

(収支)	第29期決算	第30期予算	備考
会費 個人	31,000	38,000	2020年末納分+2021年分会費
団体	218,000	209,000	
寄付	0	0	
雑収入	4	0	
収入小計	249,004	247,000	
繰越金	210,578	317,853	第29期より
合計	459,582	564,853	

(支出)	第29期決算	第30期予算	備考
総会費	57,243	100,000	第31回総会
事業費	47,982	300,000	企画開催費、学習懇談会費、会報発行(2回)
事務費	36,504	60,000	払込手数料、切手代、封筒代等
予備費	0	104,853	
支出小計	141,729	564,853	
繰越金	317,853	0	
合計	459,582	564,853	

◇代表世話人

本田 孝也(長崎県保険医協会会長、医療法人社団三和会本田内科医院院長)

◇世話人

- 柿田富美枝(一財長崎原爆被災者協議会事務局長)
- 下村千枝子(長崎リハビリテーション病院 医師)
- 中尾勘一郎(医療法人ホーム・ホスピス中尾クリニック理事長・院長)
- 原崎 健司(生活協同組合ララコープ組合員活動部統括マネジャー)
- 福田多恵子(介護老人保健施設うぐいすの丘相談室長)
- 吉岡 健仁(障害者支援施設サントピア学園管理者)
- 吉田 睦(新日本婦人の会長崎県本部常任委員)
- 米満恭一郎(真珠園療養所精神保健福祉士)

※任期途中でも随時世話人を補充していきます。

**3** 改訂版『医療と福祉のてびき』

改訂版『医療と福祉のてびき2016』を引き続き普及します。また次回改訂版の2022年の発行をめざし、準備を始めます。

**4** その他

これまでの情報に加え、

「医療と福祉のてびき」特別価格500円を設定  
世話人会では一年の計画に関連して、新型コロナウイルス感染症拡大の状況をみながら、「ひとり親家庭」

問題や「スマホ依存症」についての学習懇談会を開催することを決めました。また、『医療と福祉のてびき』の在庫については今後、特別価格として1冊500円で販売することを決めました。さらに改訂版については、「前回、施設一覧を省略したが、やはり必要とい

う意見があった」「現在スマホが普及している中で、情報の重複はQRコードを使って、ネットにとばすとよい」「ネットの掲載でわかりにくいところは原稿で説明するようにしたらよい」など発行についての思いが語られました。

役員体制





# 介護サービス施設利用者への コロナ禍の影響について

介護老人保健施設うぐいすの丘 相談室長

福田多恵子

介護サービス利用者・事業所へ様々な変化が起きています。

新型コロナウイルス感染症

予防のため、高齢者である利用者がサービス利用控え等を行い、過去最多の介護事業所の倒産、自主的に休業や廃業をした介護サービス事業所が増加したという報道がありました。長崎ではコロナ禍前より、看護職員・介護職員の人材不足で困っている現状をよく耳にしており、人員基準は満たしているが、運営上の人員として募集をするが、応募が少ない（ない）と言われていました。そのような中での新型コロナウイルス感染症の発生となつてしまいま

## コロナ禍で増す、健康不安と介護の負担

利用者への影響としては、元気な高齢者が方が緊急事態宣言から友人宅への訪問や定期的な集まりの休止等で外出を自粛したことで、精神的に不安が募り身体的にも低下（フレイル）され介護保険申請を行った方もおられ、新たなウイルスの脅威を痛感しました。また、在宅で介護サービスを利用しておられる方の影響として、通所や短期入所利用の制限があることが現状です。3密回避のため、定員の調整、送迎車・送迎時間の調整、通所事業所の一本

化、県外者との接触があった場合の利用自粛等の対応の中でご利用されています。通所利用の方はマスク着用、手洗いの励行、体調管理のため通所日以外の日の体調管理、また同居家族の検温を記録してもらおうようにお願いし、環境面では

## 感染予防と施設入所者の心身のケア

施設入所受け入れの制限をしている事業所もあります。病院に入院されている方の受け入れは可能とし、在宅からの受け入れは中止から始まり、入所後の隔離、PCR検査実施後の入所など様々対応しながら施設へウイルスを持ち込ませないための対策をとっています。



ます。

事業所としては、利用者の方へ安全に安心してご利用して頂くため感染予防対策の徹底が必要になってきます。新型コロナウイルス感染症の正しい知識の情報収集を行い、事業所として一つの生活や支援場面の再検討を行い、感染予防対策マニュアルの見直しも行いました。事業所職員については、マスクの着用、中にはフェイスシールドの併用等、スタンダードプリコーションの徹底、定期的な換気・清掃、職員の体調管理に力



施設入所のため感染予防が不確実となるであろう認知症高齢者の一人暮らしの方の入所への移行や繰り返しのご入所への移行の方もおられました。

を入れていきます。感染は、持ちこまない、持ち出さない、広げないことが原則になります。事業所職員が持ち込まないよう、勤務日以外でも体調チェック管理（同居家族も同様）を行い、生活行動も控えながら生活を

しているのが現状です。これからも、利用者、ご家族の方の協力を得ながら安心して介護サービス事業所を利用してもらえるように事業所として感染予防に取り組みことを継続していきたいと思

な時だからこそ利用者のコロナ禍での心身の変化を見逃さないようにしていく必要性を強く感じています。



# 核兵器禁止条約発効と今後の課題

（一財）長崎原爆被災者協議会事務局長  
柿田富美枝

被爆75年にあたる2020年10月24日、核兵器禁止条約は50カ国が批准したことに

の2021年1月22日に発効します。これまでに「核兵器のない世界」と願いながら多くの被爆者は亡くなっていきました。ようやく被爆者の願いが実ろうとしていま

これは長年にわたる被爆者の運動を支え、核兵器の廃絶を目指す多くの個人と団体、そして条約の成立に尽力した各国政府および市民社会が共同で取り組んだ成果であり、歴史的な快挙です。核兵器禁止条約では、前文に「ヒバクシャの受け入れ難い苦しみに留意する」と明記され、核兵器の開発、実験、保有、使用などを全面的に禁止し、使用の威嚇も禁じることで核抑止力も全面的に否定しました。核兵器は「悪の烙印」を押されたのです。

トダウンの電光掲示板に書かれた「使うことも、持つことも、配備することも、すべてを禁止する『世界の新たなルール』です」、まさに新たなルールが始まろうとしているのです。しかし、核兵器不拡散条約（NPT）で核兵器の所有が認められている核兵器国5カ国と、その同盟国、他の核保有4カ国、「核の傘」に頼る日本政府も核禁条約に反対しています。唯一の戦争被爆国である日本政府が「世界の橋渡し役」を担うと

うと云うのであれば、速やかに核禁条約に署名、批准し、核なき世界の実現の先頭に立つべきです。



▲昨年10月に開催した「核兵器禁止条約批准50カ国を祝い核兵器廃絶を誓うつどい」



▲ヒバクシャ国際署名街頭宣伝



▲一昨年の成人式会場での署名活動

昨年12月12日の共同通信社による報道では「日本生命保険など生保主要4社が核兵器製造・関連企業への投融資を自制している。来年1月の核禁条約の発効で流れが加速、業界の標準となる可能性もある」としました。長崎市役所前の「核兵器禁止条約発効カウン





2018年に県が実施した「長崎県子どもの生活に関する実態調査」の結果を踏まえ、子どもの貧困対策を推進するため昨年6月に民間支援団体が運営する相談窓口が設置されました。

設置場所は、長崎県ひとり親家庭等自立促進センター（通称・YELLながさき）内で、専門の相談員が相談に応じます。

現在コロナウイルスの影響もあり、「直接窓口に行つて相談したいけど、

仕事が見つからない...

家計が苦しい...

産みたいけど...

育てる自信がない...



...相談できる人がいない

外に出ることが心配”とお思いの方は、LINEでも相談が可能です。公式アカウントがありますので、「友だち追加」をすればメッセージの送受信ができます。下記にて友だち追加をしていただき、是非ご活用ください。相談窓口は下記の通りです。

一人で抱え込まずにお気軽にご相談ください。また、悩みを抱えているお知り合いの方にもご紹介ください。

### 長崎県子どもの貧困総合相談窓口

こんなときありませんか？

「子育てで悩んでいる...」「収入が減って家計が苦しい...」「求職活動が上手く行かない...」「失業して家賃が払えない...」「借金の返済で困っている...」「公共料金を滞納している...」「悩みがあるが相談相手がない...」「食材を買えない...」

子育て中には、子どものこと、生活のこと、仕事のことなど多くの困り事を抱えてしまいます。子どもや保護者、支援者（保育士、幼稚園教諭、学校教諭、学童支援員など）からの相談をうけつけます。



【電話】095-801-2442  
月～金曜日 10:00～18:00

【LINE】友だち追加

【HP】<https://www.yell-nagasaki.jp/soudan01.html>



### 長崎県にんしんSOS相談窓口

こんなとき相談してください

「産みたいけれど育てられない...」「環境や経済面、病気などで、出産しても生活できるか不安...」「育てるつもりだったけれど自信がない...」「望まない子どもを妊娠してしまった、どうしよう...」「妊娠を彼に伝えたら連絡が取れなくなった...」「レイプされた...妊娠していたらと思うと怖いけど、誰にも言えない」「DVを受けている、パートナーには内緒で出産したい」

のぞまない妊娠や赤ちゃんの将来のことなど、精神的、経済的、社会的に困難な状況にある方の相談をうけつけます。



【電話】095-801-2443  
月～金曜日 10:00～18:00

【LINE】友だち追加

【HP】<https://www.yell-nagasaki.jp/soudan02.html>

医療と福祉を考える長崎懇談会に

## あなたも入会しませんか



お問い合わせ・申込先

医療と福祉を考える長崎懇談会

〒850-0056 長崎市恵美須町2-3フコク生命ビル2階（長崎県保険医協会内）  
TEL：095-825-3829

個人会員の年会費は500円です。

お気軽にご入会ください。

●活動内容●

1. 会報「医療と福祉」の発行（年2回）
2. 学習懇談会の開催
3. 『医療と福祉のてびき』発行など

# 「発達障害」言葉は知っていても…

～ 成人期以降をみすえて ～

NPO法人SPICY相談員 東川 由貴

## 障害は環境との間に

NPO法人SPICYは主に自閉スペクトラム症（ASD）を含む発達障害をもつ方々とその周囲の方々への介入を行っています。当法人のミッションは、地域におけるASD支援・介入の質の向上です。医療サービスや福祉サービスでは届かないところで途方に暮れている当事者やご家族の存在が、このNPOの設立へとつながっています。設立からまる7年が経とうとする中、発達障害者支援に特化したNPOとして担うべき役割に考えを巡らせながら、これまでみてきた、発達障害者とその周辺の現状を現場からの声としてお伝えします。

発達障害ということばはよく広まり、特定のイメージや知識を持つ方も随分と増えました。啓発による効果だと思えます。しかしその先の具体的な対策や対応が分からないままに、状況がこじれ、問題を複雑化させていく例が多く見受けられます。本人や周囲の方々が期待しているのは一般的な知識でなく、個別的な具体的対策や対応です。本当の意味での障害は当事者と周囲の人や環境との間に日々生じているのです。当法人では現在まで189世帯（ご家族をひつ

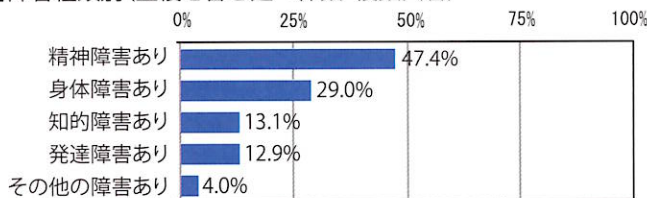
くるめて関わるため世帯）と関わっています。知的障害を併せ持つ方もいれば持たない方、年齢層も1才代～50代と実に様々です。

特に成人期以降の方に對する介入や支援は、子ども時期に比べ資源の選択肢も少なく、必要とする十分な介入や支援にながっている方は全体の中のごく一部でないかと思われます。ハローワー

クへの新規登録をした障害のある求職者の実態調査によると、障害種類別では「発達障害あり」が12・9%（図1）、さらにその内訳を見ると、ASDは68・6%（図2）を占めています（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構2020）。特にASDはその表現型が様々であることが特徴であり、誰かいうまくいったあるやり方をそのまま適用すればうまくいくというものはありません。個別の対応を検討する際にはASD介入への専門性、その方自身の特徴や周囲の環境から最も現実的に取り入れることができる方策を見出すことが必要になります。成人期にに向けた本人への就労への移行準備

は当然その前から丁寧に行う必要があります。また本人と環境との間に障害が生じにくいように雇用側の取り組みも必須となります。一部を変えるのではなく、周辺にも働きかけ地域とともに成長したいと考えています。そのため当法人では地域全体のASD支援の質の向上のために「コンサルテーション（専門家と現場の協働）が重要と位置付けています。コロナ禍で、足踏みをしいられている現状ですが、新しい生活様式へと様変わりし、いろいろな場所で求められる行動が見てわかるように表示されたり、構造化されてきました。ASD支援の観点からは、分かりやすく優しい環境へ世の中は変わっていくのだと希望をもちながら活動をしています。

【図1】障害種類別（重複を含む延べ件数・複数回答）



【図2】発達障害の詳細（複数回答）

